

Module21

インストール時の セキュリティ設定

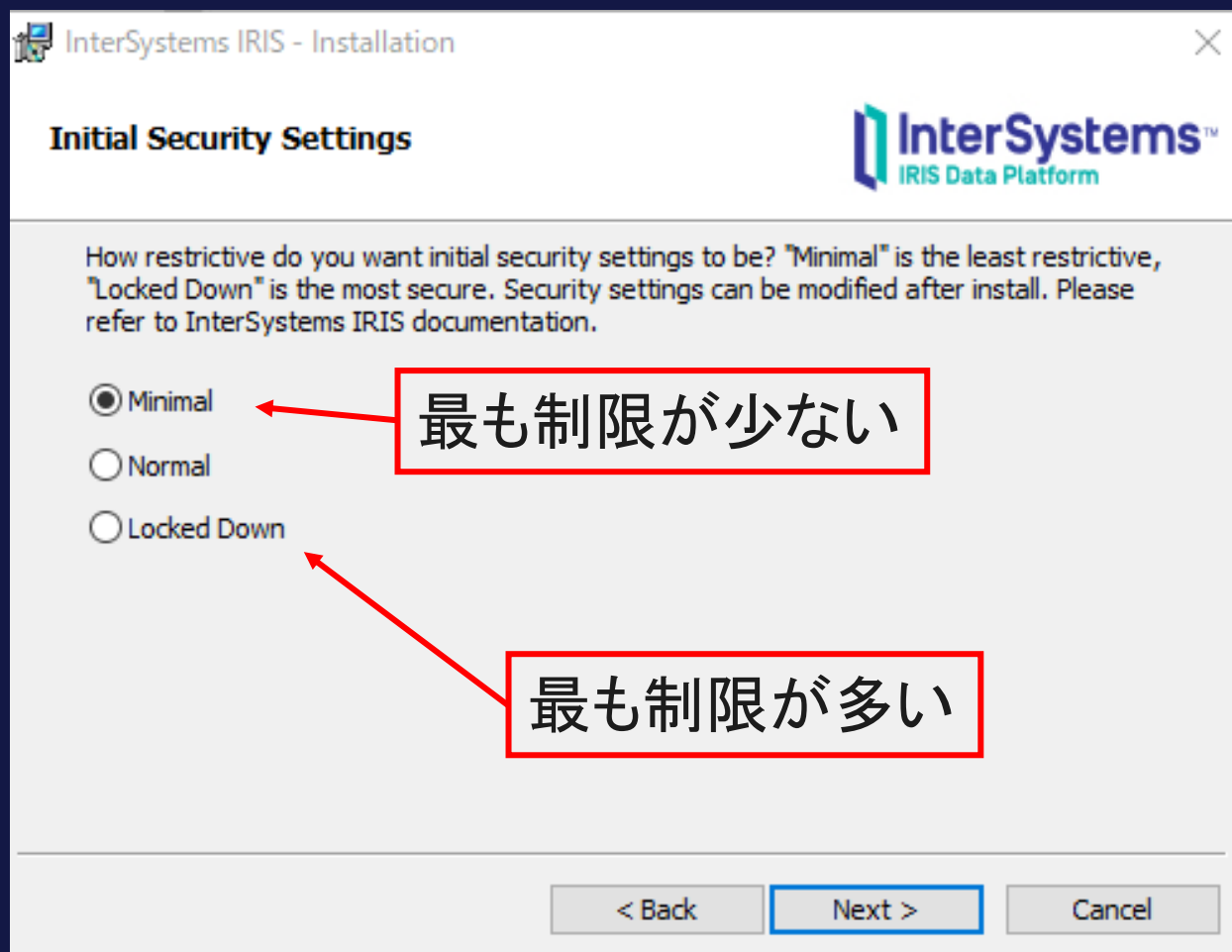


このモジュールの主な目標

- このモジュールでは、インストール時に指定する初期のセキュリティで設定されるデフォルト設定項目について説明し、初期セキュリティ設定についてご理解いただきます。
- 具体的には以下内容を説明します。
 - インストール時指定のセキュリティによる設定
 - セキュリティ設定変更による緊急時のアクセス方法
 - セキュリティ設定のエクスポート/インポート方法



初期セキュリティ構成



ユーザ認証に関するデフォルト設定

セキュリティ設定	Minimal (最小)	Normal (通常)	Locked Down (ロックダウン)
_SYSTEM ユーザの有効	あり	あり	なし
認証が必要	いいえ	はい	はい
パスワードのデフォルトパターン	3.32ANP	3.32ANP	8.32ANP
UnknownUserのロールの割り当て	%All	なし	なし
インストール時のユーザ名とパスワードの作成	なし	あり	あり

X.32ANP(表では X に 3 か 8 が指定) は、X から32文字分の文字列の長さであり、アルファベット(A)、数字(N)、句読点(P)の文字列パターンであることを表現しています。詳しくは、「[パターン・マッチング](#)」のドキュメントをご参照ください。



サービスの初期設定

Service	Minimal (最小)	Normal (通常)	Locked Down (ロックダウン)
%Service_Bindings	Enabled	Enabled	Disabled
%Service_CSP (Caché Only)	Enabled	Enabled	Enabled
%Service_CacheDirect	Enabled	Disabled	Disabled
%Service_CallIn	Enabled	Disabled	Disabled
%Service_ComPort	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Console (Windows Only)	Enabled	Enabled	Enabled
%Service_DataCheck	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_ECP	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Login	Enabled	Enabled	Enabled
%Service_MSMActivate (Caché Only)	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Mirror	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Monitor	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Shadow	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Telnet (Windows Only)	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_Terminal (Unix® and Linux Only)	Enabled	Enabled	Enabled
%Service_WebLink (Caché Only)	Disabled	Disabled	Disabled
%Service_WebGateway (InterSystems IRIS Only)	Enabled	Enabled	Enabled



初期のパスワード設定について

- インストール時に設定される事前定義ユーザのパスワード初期設定は以下のとおりです。
- 最小(Minimal)インストール
 - 全ての事前定義ユーザのデフォルトパスワードは “**SYS**” が設定されています(**SYS**は全て大文字で指定します)。
- 通常(Normal)とロックダウンインストール
 - インストール時に全ての事前定義ユーザに対する共通のパスワードを1つ指定します。



緊急アクセス

- 緊急アクセスの用途は以下の通りです。
 - セキュリティ構成情報が大きく破損した場合の修復
 - 適切な権限を持ったユーザが一人もない場合の修復
(%Allを持つユーザのユーザ名、パスワードなどを忘れてしまった場合)
 - データベースのリストア作業(ジャーナルリストアなど)を行う際のユーザアクセスを拒否する目的
- 緊急アクセスを使用するためには、OSの特権アカウントでログインしている必要があります。
 - Windows – Administratorsグループのユーザ
 - UNIX/LINUX/Mac – sudoコマンドで管理権限を取得できるユーザ
 - OpenVMS – システムのUICを持つユーザ
- 緊急アクセス開始時の引数 **EmergencyId** で指定するユーザ名、パスワードは、InterSystems製品やOSに既存登録のあるユーザである必要はありません。緊急アクセス時のみ利用できるユーザ名として利用されます。
 - 緊急アクセスでは、通常ログインできるユーザではログインできず、開始時に指定するユーザ名、パスワードでのみアクセスできます。

■ Windowsでの開始方法

```
iris start ConfigName /EmergencyId=UserName,Passwd  
ccontrol start ConfigName /EmergencyId=UserName,Passwd
```

■ Unix/OpenVMSでの開始方法

```
iris start ConfigName EmergencyId=UserName,Passwd  
ccontrol start ConfigName EmergencyId=UserName,Passwd
```



緊急アクセスの動き

- 緊急アクセス・モードでは、**Emergencyid**で指定したユーザが%All権限(フルアクセスできる権限)を持ちます。
- 緊急アクセス時、コンソール、ターミナルおよびCSPだけが、システムにアクセスできます。
 - 管理ポータルは全機能利用できます。
- 監査が無効化している環境でも有効化することで、緊急アクセス時に変更したセキュリティ設定をログとして登録できます。
- 正常時、構成情報の変更が即時反映される変更であっても緊急アクセス時は、再起動されるまで反映されません。
- 作業が完了したらInterSystems製品を停止します。



緊急アクセス時の動き

- 緊急アクセス時、以下の機能は開始されません。
 - TASKMGR(タスクマネージャ)
 - シャドウィング
 - ミラーリング
- %ZSTART、%ZSTOP、ZSTU、ZSHUTDOWN は実行されません。



SSL/TLSサポート

- SSL/TLSを利用することで、以下のアクセスを安全に接続できます。
 - スーパーサーバを使用する接続
 - ミラーリング、シャドウウィング、xDBC、スタジオなど
 - TCP接続
 - TELNET接続
- 参考ドキュメント
アプリケーション開発 > セキュリティ管理ガイド > [InterSystems IRISでのSSL/TLSの使用法](#)



セキュリティ設定のエクスポート/インポート

- セキュリティ設定はシステムルーチンやシステムクラスを利用してエクスポートとインポートが行えます。
 - エクスポートとインポートは管理ポータルでは機能を提供していません。
 - セキュリティ設定のバックアップとして利用できます。
- システムルーチン^SECURITYを利用する場合は以下メニューを利用します。
 - 9) System parameter setup のメニューを利用します。
- Security.Systemクラスを利用する場合は、以下メソッドを利用します。
 - ExportAll()
 - ImportAll()

```
Export to file name SecurityExport.xml =>  
Parameters? "WNS" =>  
Confirm export of selected security records to  
  
Exported 24 Application security records  
Exported 1 Domain security records  
Exported 25 Event security records  
Exported 32 Resource security records  
Exported 19 Role security records  
Exported 0 SSLConfig security records  
Exported 16 Service security records  
Exported 1 System security records  
Exported 23 User security records  
  
Export complete
```



推奨ドキュメント

- [ドキュメント](#) > 導入とインストール > インストール・ガイド > InterSystems IRIS のインストール準備 > [インターシステムズのセキュリティのための準備](#)

InterSystems IRIS Data Platform 2020.1 > 導入とインストール > インストール・ガイド

インストール・ガイド

- [このドキュメントについて](#)
- [InterSystems IRIS のインストール準備](#)
 - [インストール計画の考慮事項](#)
 - [メモリの計画および管理](#)
 - [ファイル・システムの推奨事項](#)
 - [ストレージの推奨事項](#)
 - [インターシステムズのセキュリティのための準備](#)
 - [プラットフォーム固有の準備](#)



まとめ

- このモジュールのキーポイントは、何ですか？

